

Arm Mbed

マイコン・プログラミング基礎固め

第2回 本格Mbedオフライン開発環境の事前準備

村井 和夫



図1 Mbedのサイト

この画面からLog in (ログイン) /sign up (サイン・アップ)に入る

前はArm Mbedプログラミング環境の紹介を行いました。今回は、本格Mbed開発環境構築の事前準備を行います。(編集部)

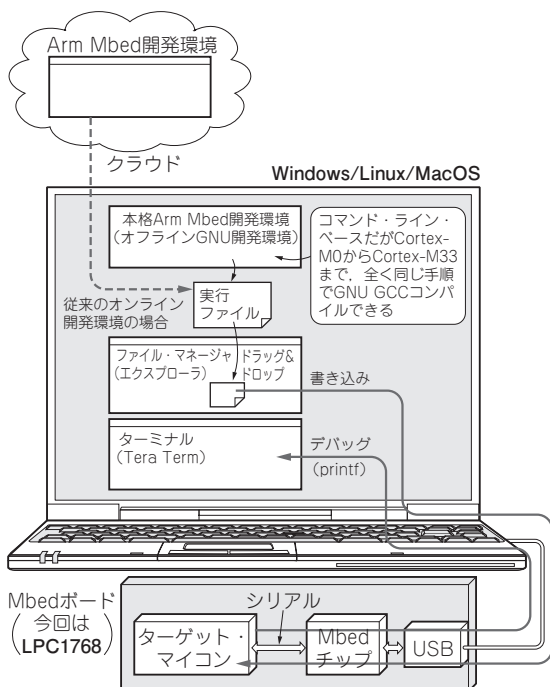


図2 定番Mbed開発環境の構成(今回はオンライン開発環境を動かす)

まずは従来のMbedオンライン開発環境を動かせるようにする

Mbed オンライン開発環境によるプログラムは、極めて簡単に次の手順でプログラムを開発できます。

使う環境は、Windowsを使って説明しますが、MacやLinuxでも同じ手順になります。

なお、オンライン環境は、いろいろなところに説明もあるので、簡単に手順を示すだけにします。

●手順1…アカウント作成をしてログイン

まず、Mbedのサイト(<https://os.mbed.com/>)にいき、右上のsign up(サイン・アップ)でアカウントを作成してlog in(ログイン)してください(図1)。

●手順2…MbedボードをPCのUSBポートに接続

ここでは、定番のLPC1768を使って手順を説明します(図2)。

まず、Mbedボードを、PCのUSBポートに接続します。

PC上にMBEDと名前が付いたUSBメモリ相当のフォルダ・ファイルが現れます(図3)。

MBEDドライブのMBED.HTMをクリックすると、

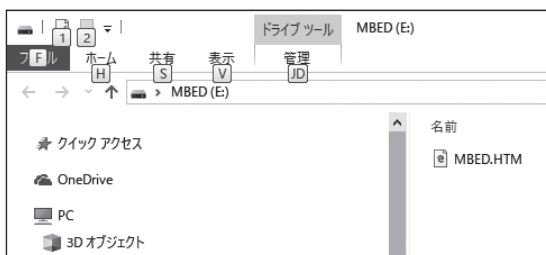


図3 MBEDと名前が付いたUSBメモリ相当のフォルダ・ファイル MBEDドライブのMBED.HTMをクリックするとMbedオンライン・サイトに接続できる